

教科名	国語	週時間数	4時間	学年	2年			
使用教科書 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 現代の国語 2(三省堂) 中学書写(光村図書) ・副教材 国語の学習(浜島書店) 学習漢字ノート(浜島書店) 新・国語の便覧(正進社) すらすら基本文法(浜島書店) 基礎をきずく(浜島書店) 							
教科のねらい	<p>言葉の意味、働き、使い方等に注目しながら、言語活動を通して、国語で表現された内容や事柄を正確に理解する資質・能力、国語を使って内容や事柄を適切に表現する資質・能力を身に付ける。</p> <p><知識及び技能>に関するねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれる情報の扱い方、我が国の言語文化に関することなど、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 <p><思考力、判断力、表現力等>に関するねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的に考える力や共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 <p><学びに向かう力、人間性等>に関するねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 							
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を中心に進めながら、必要に応じて、ワーク、プリント等を活用する。 ・自力解決に加え、4人班を中心としたグループで課題に取り組む。 ・発表・音読・スピーチ・表現活動等、生徒一人一人が活動できる工夫を行い、興味・関心を高める。 							
定期考査	出題方針	授業内容を中心に、観点別の問題を出題する。(読解問題を中心として、言語・作文問題など。)漢字問題は、ワークから出題。						
	範囲 (予定)	1学期中間	詩	物語	説明文	文法	漢字	作文
		1学期期末	物語	説明文	文法	漢字	書写	作文
		2学期中間	物語	説明文	文法	漢字	作文	
		2学期期末	古典	詩	物語	文法	漢字	作文
		学年末	説明文	物語	文法	漢字	書写	作文
	主体的に学習に取り組む態度	課題への取り組み方、提出物等						
思考力・判断力・表現力	作文、学習プリント、発表内容、聞き取りテスト、定期テスト(話す・聞く、書く、読む)等							
知識・技能	漢字小テスト、書写、暗唱、定期テスト(漢字・文法・古典知識・文学史等)等							
学習方法 (先生からの アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをしっかりと持った上で、他の人の考えを聴く。 ・わからないことをそのままにせず、復習、漢字テスト勉強等、自ら学習を進める。 ・新聞や本を読み、多様な表現に触れたり、知識を深めたりする。 							

学期	月	単元	学習内容	学習のポイント	
I	4	読む(詩)	「名づけられた葉」(2)	◎詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。 ◎詩にこめられたものの見方を捉える。	
		読む(小説)	「セミロングホームルーム」(4)	◎人物の設定の仕方を捉え、表現や構成の工夫とその効果について考える。 ◎作品を読んで考えたことを共有し、自分の考えを広げたり深めたりする。	
		言語	「敬語の意味と種類」(1)	◎敬語のはたらきについて理解し、使う。	
	5	話す・聞く	「グループディスカッション」(4)	◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解し、活用する。 ◎相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる。	
		読む(説明文)	「じゃんけんは、なぜグー・チョキ・パーの三種類なのか」(1) 「人間は他の星に住むことができるのか」(4)	◎文章の構成や論理の仕方を捉える。 ◎主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。 ◎文章を読み、構成や論理の展開とその効果について考える	
	6	書く	「手紙・メール」(4)	◎相手に伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式をふまえて書く。 ◎内容が正しくわかりやすく伝わるように、読み手の立場に立って読み返し、文章を整える。	
					言語
	7	読む(短歌)	「短歌の世界」「短歌十首」(3)	◎短歌のリズムや表現方法などの特徴をもとに、短歌についての理解を深める。 ◎情景や心情を表す語句に注意して、短歌を読み味わう。	
		書く	短歌・俳句(5)	◎情景や感動が伝わるように、表現を工夫して書く。 ◎作品を読み合い、表現の工夫などについて意見を交流する。	
		・報告	「壁に残された伝言	◎全体と部分の関係に着目して読み、理解した内容を、自分の知識や経験と結び付けて考える。	
			・言語	「漢字のしくみ」	◎熟語の構成・熟字訓について学ぶ。

2	9	・評論	「100年後の水を守る」	◎文章と図表を結びつけて筆者の考えを捉える。
		・古文	「枕草子・徒然草」	◎自然や人間に対する筆者のものの見方や心情を、現代の自分と対比して読み取る。
	10	・古文	「平家物語」	◎古典のリズムを味わい、場面や状況を捉え、登場人物の考え方について自分の考えを持つ。
	11	・漢文	「漢詩の世界」	◎漢詩のリズムを意識して読み、描かれた情景を捉える。
	12	・詩	「大阿蘇」	◎詩の表現方法と効果を理解し、描かれた情景を読み取る。
		・物語	「小さな手袋」	◎登場人物の相互関係を捉え、主人公の言動から意図や心情を読み深める。
3	1	・評論	「動物園でできること」	◎主張と例示との関係に注意して読み取った筆者の主張を、知識や経験と結びつけて自分の考えを深める。
	2	・物語	「走れメロス」	◎人物の言動の意味を考え、人物像とその変化を捉える。
		・古典	「百人一首」	◎日本の伝統文化に親しむ。
	3	・言語	「言葉発見」	◎類義語・対義語・多義語の違いについて学ぶ。
		・文法	「文法の窓」	◎助詞・助動詞のはたらきについて学ぶ。

・漢字学習については、副教材で進めていく。

・書写については、2学期を中心に取り組んでいく。(20時間程度)

・3学期に百人一首大会を実施予定。